

第29回ボウリング大会を開催

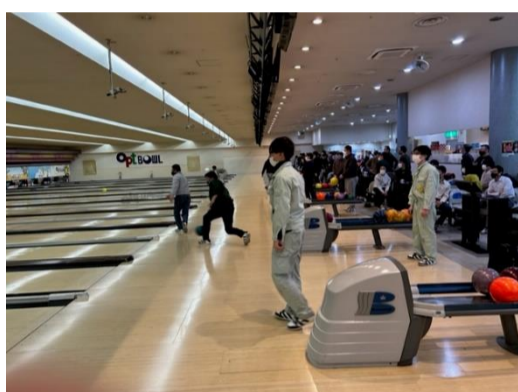


2月22日、中和労福協・中和地協共催による第29回ボウリング大会が新型コロナウイルス感染拡大も幸い減少傾向にある中、オプトボウル高田に於いて開催され、22チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

ボウルがレーンに落ちるドンという音、ピンの倒れる軽やかな響きに続いて起こる拍手、和やかに楽しいひと時を過ごすことができました。

中和労福協・藤原会長(中央)あいさつ

3年ぶり 13単組 22チーム が参加



団体賞	
1位	ヒラノテクシード労組
2位	大和高田市職
3位	大和高田市教組
個人賞 (敬称略)	
1位	堀内 泰(ヒラノテクシード)
2位	大部幸良(ヒラノテクシード)
3位	岡崎龍正(ヒラノテクシード)
個人賞・女性 (敬称略)	
1位	若月円香(浪華ゴム労組)
2位	高井奈穂(トーマ労組)
3位	岩下知加(御所市職労)

第20回統一地方選挙 連合奈良推薦・予定候補者 (内部討議資料)

奈良県議会議員選挙

香芝市区
おざき みつのり

尾崎 充典 61歳 現3

立憲民主党推薦

御所市区
かわぐち しん

川口 信 33歳 新

無所属

市議会議員選挙

大和高田市
にしかわ しげかず

西川 繁和 74歳 現5

電機連合重点推薦

《県議会議員》奈良市・山辺郡区					
たじり	たくみ	65歳	立憲民主公認	現6	JR連合組織内
田尻	匠				
しなと	こういち	65歳	立憲民主公認	現1	
階戸	幸一				
ほったみ	えこ	69歳	立憲民主推薦	新	
堀田	美恵子				
かきもと	げんき	43歳	立憲民主推薦	新	
柿本	元気				
大和郡山市区					
ふじの	よしつぐ	59歳	立憲民主公認	現4	
藤野	良次				
橿原市・高市郡区					
もりやま	よしふみ	53歳	立憲民主公認	現5	
森山	賀文				
《市議会議員》大和郡山市					
はやし	ひろふみ	50歳	国民民主推薦	現4	電機連合重点推薦
林	浩史				
にしむらち	づこ	64歳	無所属	現2	
西村	千鶴子				
天理市					
いちもと	たかし	59歳	立憲民主推薦	現3	
市本	貴志				
なかにし	さとし	71歳	無所属	現2	教育連合組織内
仲西	敏				
桜井市					
おかだ	こうじ	53歳	無所属	現5	電機連合組織内
岡田	光司				
生駒市					
うえむら	きょうこ	75歳	民主党公認	現1	
上村	京子				
《町議会議員》大淀町					
もりなが	まさよ	68歳	社民党推薦	新	
森永	まさよ				
《首 長》生駒市					
こむらさき	まさし	48歳	無所属	現2	
小紫	雅史				
五條市					
ようだ	まさやす	44歳	無所属	新	私鉄総連
養田	全康				



春季生活闘争総決起集会 3.3



3月3日、連合奈良は2023 春季生活闘争総決起集会が開催されました。

近鉄奈良駅前に於ける屋外集会には組合員約200名が参加、「未来づくり春闘」に向けての力合わせを誓い合いました。

水野事務局長の開会あいさつにはじまり、西田会長が主催者あいさつし、勢ぞろいした第20回統一地方選挙・連合奈良推薦予定候補者の紹介を行いました。続いて政党代表からの連帯挨拶を受けました。



集会アピールの後、「賃上げを中心とする『人への投資』を起点として、働く者の能力・意欲の向上と所得増をはかり、消費拡大を通じて経済の好循環を実現する。その時がまさに今だ。

私たちは、先人が積み上げてきた春季生活闘争の流れを継承し、すべての働く音、生活者の先頭に立ち一層の賃上げに全力で取り組み、ステージを変える。」とする「連合奈良 2023 春季生活闘争宣言」が採択され、今西会長代理の団結がんばろうで集会を締めました。



毎月05日は「れんごうの日」 「連合奈良の日」 3月

3月6日は「サブロクの日」です

2023年3月6日、「連合奈良の日」街頭宣伝行動は近鉄五位堂駅で行いました。中和地協からは、笠谷議長はじめ5名、友好推薦議員は中村香芝市議会議員、西川大和高田市市議員が参加しました。

今回は「3月6日(サブロクの日)」と「トルコ・シリア地震被災者救援をテーマに行いました。

一人でも多くの人に「働き方」について考えるきっかけにしてほしい、労働時間に関する大切なルールである「36協定」を浸透させたいとの願いを込めて訴えを行いました。



国際女性デー 3.8

3月3日の連合奈良春闘総決起集会の前段では、「国際女性デー」の取り組みも展開されました。

今年の3.8国際女性デー全国統一行動テーマは「今こそ Change, Challenge, Movement! ~社会のすべての仕組みにジェンダーの視点を~」です。今こそ、性別、年齢、国籍、障害の有無、就労形態などにかかわらず、多様性を認め、すべての人が互いに支えあえる社会を実現するために、私たち労働組合にも一層の努力が求められています。



2023連合奈良春季生活闘争総決起集会



3月3日、連合奈良2023春季生活闘争総決起集会が、近鉄奈良駅前約200名の組合員を結集して開催されました。

今次春季生活闘争は、コロナ禍に加え急激な物価高と円高が家計を直撃し、実質賃金がマイナスの転じている中、賃金もGDPも上昇する経済へステージを変える「くらしをまもり、未来をつくる」春闘として闘われています。厳しさを増す働く者のくらしをまもる、「賃上げ」を起点に未来に向けた新しいステージを切り拓いていくという決意を確認しました。



3.8国際女性デー

総決起集会の前段、3月8日「国際女性デー」のアクションが女性委員会によって行われました。



3.8国際女性デーとは？・・・1857年にニューヨークの被服工場の火災で多くの女性たちが亡くなったことを受け、3月8日に女性たちが低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが「3.8国際女性デー」の起源であると言われています。

その後、1908年3月8日には、女性労働者たちが賃金改善と労働時間短縮、そして婦人参政権を求めて「パンとバラ」を掲げ、デモを行いました。

以来、この日は“女性の政治的自由と平等のために行動する記念日”と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、世界各国で様々な行動が展開されています。

連合は、1996年から春季生活闘争の中に国際女性デーの行動を位置づけ、全国で統一行動を実施しています。